

発委第 7 号

令和4年9月28日

日出町議会

議長 工 藤 健 次 殿

提出者 福祉文教常任委員会
委員長 安 部 徹 也

「県内一周大分合同駅伝競走大会」が継続して開催できるよう大分県の
支援を求める意見書について

上記の議案を日出町議会会議規則第14条の規定により別紙のとおり提出し
ます。

理 由

大分県が主体となって、県内一周大分合同駅伝のノウハウを受け継いだ同等規
模の大会を創設し存続して行くことを求めるため。

「県内一周大分合同駅伝競走大会」が継続して開催できるよう大分県の支援を求める意見書

3年目を迎えたコロナ禍のもと、大分合同県内一周駅伝が64年の歴史に幕を下ろすことになりました。コロナ蔓延を受け2年連続の大会中止となり、今年4月に終了決定となりました。

選手や監督などチーム関係者はこの2年間、大会再開を信じて日々精進してきました。今回の大会終了の報道を受け、大きな喪失感を抱く選手も多数います。一企業による大会のため、その責任は問うことはできないことは十分承知しています。

しかし、64年に及ぶ大会の歴史の中で多くの若者が地元の代表入りをめざして、練習を積重ね襷を繋いできました。選手のほとんどが仕事を持ち、家庭を守り、時間を工面しながら県下の仲間とともに築いてきた大会でした。また、今後も後にくであらう若者の存在を信じて青少年の指導にも関わってきた選手やOBたちもいます。

5日間をかけ県内を一周する大会は全国的にも珍しく、選手や大会関係者の誇りでもありました。運営には選手のみならず事務局や審判団、警察や各地の交通安全協会、婦人団体を中心に各地での接待、保育園児から高齢者までの暖かい声援によって続けてこられた県下最大のスポーツ行事でした。それ故に、いったん大会が途絶えてしまえば再開は困難になってしまいます。

よって、大分県が主体となって各自治体や関係団体との協力をはかり、大分合同県内一周駅伝のノウハウを受け継いだ同等規模の大会を創設し存続して行くことを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月28日

大分県速見郡日出町議会議長 工 藤 健 次

大分県知事 広 瀬 勝 貞 殿